

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	賀茂みどり樹		
○保護者評価実施期間		2025年12月15日	~
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間		2025年12月15日	~
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日		2026年1月31日	9

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的にアセスメント及びモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている	問題が発生した時には、その都度振り返りをしながら計画の見直しをおこなっている。家族とも情報交換を密におこなって、計画を立案し実行するようにしている	日常的な子どもたちの様子の変化にも目を向け、問題発生時に限らずPDCAサイクルを活用して支援の質向上に取り組んでいきたい。
2	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	記録の重要性について職員間で共通認識を持ち、継続的な記録の徹底に努めている。	今後は、手書きやPCでの入力、ソフトの導入など、いろいろな角度から記録の有効活用を検討していきたい
3	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	子どもの最善の利益を踏まえ、送迎時のコミュニケーションや保護者からの相談を通じて、子どもおよび家族の意向の把握に努めている。	保護者との個別懇談の機会を通して意向を共有し、子どもの最善の利益を第一に考えた療育へと反映させていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他の地域の子供たちとの交流ができていない	現状として、立地の関係でも（他運営施設の内部にある状況）、地域の他のこどもを招くなどの活動する機会は難しく、設けていない。	施設をお借りしている関係者とも相談を行いながら、地域の子どもたちとの交流の機会を創出していきたい。
2	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	土曜日の小集団療育の時間に保護者会を開催したことがあります。保護者同士交流の機会を設けることは重要であり、今後も継続したいと考えています。しかし、当施設は小規模で職員も少人数であるため、り、継続的な開催が課題となっている	保護者が気軽に交流できる場を少しづつでも続けていけるよう、短時間での保護者会や交流イベントの開催、他との連携、ボランティアや学生のサポート活用など、さまざまな工夫を検討して安心して交流できる場づくりを作成していきたい
3	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	利用者との連絡手段としては、LINEを活用しており、個別の連絡や確認は行えているが、定期的な通信発行やSNS・HPの活用には、職員の時間的余裕や体制が不足していることが大きな障壁となっている	情報発信体制の強化が求められるが、現状では人的リソースの確保や運用方法が課題なので、発信に際しては定型フォーマット作成や職員の役割分担、段階的な導入などを検討していきたい

		公表 保護者等からの事業所評価の集計結果						
事業所名	賀茂みどりの樹	公表日 2026年 1月 31日						
						利用児童数 13	回収数 9	
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	0	0	0	身体を動かさせて子供は満足しています	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	0	0	1		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	0	0	0	子供がわかりやすいように配置してくれています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	0	0	0		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	0	0	0	子供のことをしっかりわかつてくれ工夫をしてくれています	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	0	0	1		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	0	0	0	子供の気になっている所を聞いて支援計画にいってくれています	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	0	0	子供に合わせて対応してくれています 家でもどのようにしたらいいか教えていただいている	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	0	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	6	1	0	2	保育所へ行っていただいたり先生方と話をしていただき助かっています	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1	0	5	他のお母さま方と話す機会を頂いたりで きてよかったです もう少し回数があればよいかと	今後、他のご家族との情報交換をする場 を増やしていく様に取り組んでいきます
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解がでていると思いますか。	9	0	0	0	出来たこともできなかつたことも教えて くれて次にどうしていくかも考えてくれ てたすかっています	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	0	0	0	面談で困っている事を聞いていただき 「こうしてはどうか」と提案していただ けるので助かります	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	0	子供が出来た事をしっかり褒めてくれる ので私の方がうれしくなります	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	2	0	7		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	0	0	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3	1	0	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	1		
満足度	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。		0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	3		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	0	0	2	少し頭をうったなども教えていただけるので信頼できます	細かな情報提供を今後も心掛けいきます
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	0	先生方が好きで安心しています	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	0	0	0	毎回楽しみにしていて、いけない時は泣いてしまいます	
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	0	0	0	不安な事も聞いていただいたり子供が出来た事を一緒に喜んでくれてうれしくなります	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	賀茂みどりの樹
------	---------

公表日 2026年 1月 31日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0	スペースを確保するように、配置を工夫している パーテーションの移動等行っている	集団療育となるとスペース的に窮屈を感じる場面がある
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	わかりやすく構造化している	バリアフリー化は建物の構造上、バリアフリーが難しい 全体がバリアフリーとなってないが、困ってはいない
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	毎日の清掃、消毒を実施している 空気清浄機を導入して数か所設置している	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	構造化を行っている	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	2		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	毎年実施して公表も行っている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	小規模であることもあり、何かあった場合は、都度話し合う場を設けている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	個人で受講したり、職場内研修で受講機会を設けている	個人で受講する場合は、勤務日と重なると受講が難しい
適切な支援の実	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	チェックシートを作成し、活用している 日々の記録を重視して行っている	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	活動プログラムの立案は職員内で相談しながら行うようにしている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	2	その日の流れや役割分担については、朝礼などで確認する場を設けている	支援内容についてまでは、出来ていない場合もある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	3		小規模施設で職員数も少数であるため、状況によって実施できているときと出来ていない時がある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	期間を決めて6か月ごと見直しを行っている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	主に担当職員や児童発達支援管理責任者が参加することとしている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	3		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	保護者や保育所等側からの要望があった場合に実施している	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	4	保護者からの要望があった際、小学校入学前に実施した	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	4		
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	可能な限り、療育時・療育が行った後にお伝えしている。また連絡ノートも活用するようしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	可能な範囲で支援・助言を行っている。家族等から要望があった場合には時間をとって面談を行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2		土曜日の小集団の時、開催したことがあり、続けていきたいが職員体制上、困難となっている
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	可能な範囲で対応するようにしている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	0	4	連絡に関してはLINEを活用している	小規模施設で職員数も少数であるため、通信発行が難しい状況となっている
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	必要に応じて、メモを渡したりLINEで情報伝達をしている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	保護者からの申告で確認している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	4	保護者からの申請による 食事の提供は行っていない	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全計画を作成している。研修計画や建物定期点検等も交えて管理するようにしている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	0	4		安全計画を作成しているが、家族への周知は十分ではない
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	ヒヤリハットのファイルを作成して、事案があった都度記入して、職員に報告・周知を行っている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	研修を行っている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行ふかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0		